

テーマ	貸倒引当金、消耗品
-----	-----------

1. 次の取引を仕訳しなさい。

(1) 今期、山陽商店に対して売上げた売掛金 ¥300,000 が貸倒れとなった。

	借方	貸方
(1)		

2. 次の一連の取引を仕訳しなさい。

(1) ×1 期の決算にあたり、売掛金 ¥9,000,000 に対して 3%の貸倒引当金を設定する。

(2) ×2 期において、×1 期発生売掛金が ¥125,000、×2 期発生売掛金 ¥100,000 が貸し倒れた。

(3) ×3 期において、×2 期に貸倒れの処理をしていた売掛金 ¥50,000 を現金で回収した。

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		

3. 次の一連の取引を、消耗品について購入時に(1)費用として処理する方法と(2)資産として処理する方法で仕訳しなさい。

9/30 事務用消耗品 ¥300,000 を買い入れ、代金は現金で支払った。

3/31 決算に際し、事務用消耗品の未使用分は ¥40,000 であった。

4/1 再振替えをした。 ※(2)の方法は再振替仕訳を必要としない。

(1)	借方	貸方
9/30		
3/31		
4/1		

(2)	借方	貸方
9/30		
3/31		